

# ひょうぶ企業探訪

2019 学生が聞く

②

## 「ITと旅行」、異色の2本柱

「ITと旅行」という異色の組み合わせを掲げるシステム会社。地元企業の経営を支えるソフトウェアの開発と、大手旅行代理店JTBの総合提携店運営が事業の柱だ。関西大の千葉貴宏准教授のゼミ生が竹中睦芳社長を訪ねた。

―沿革を教えてください。

「もとは家電量販の星電社が1980年に立ち上げたシステム開発部門。当時は、オフィスコンピュータの販売と、付随するソフトを開発していました。転機は、店舗や事務所が壊滅的な被害を受けた95年の阪神・淡路大震災。経営再建を進める中、78年設立の星電社の休眠子会社に同部門が移り、社員で全株式を買い取って独立しました。社名は『Gaia（ガイア）』

### ジィ・アンド・ジィ(神戸市中央区) 竹中 睦芳社長(63)



竹中睦芳社長(左)に話を聞く関西大3年の土佐弘人さん―神戸市中央区磯上通4

& Graffiti(グラフィティ)の略。取引先「旅行部門も一緒に独立したことがきっかけです。最大のメリットは財務面。システム開発は納品まで数年かかることがあります、資金

**メモ** 星電社の完全子会社として1978年設立、99年独立。従業員67人。2019年3月期の売上高27億3500万円。19年春採用5人、20年春も5人を予定。神戸市中央区磯上通4の1の6。☎078・222・1551



運営する旅行代理店の店頭―神戸市灘区永手町4

―なぜ旅行業を。 「販売管理システムの構

築が得意で、卸売りや小売関連の企業から引き合いが多い。自動車教習所や医師会事務局など、大手が入できないニッチ市場向けのパッケージソフトも好調です。営業▽設計▽開発▽保守―といった一連の組織があるからこそできるサービスだと自負しています

「実はIT事業部の75%が文系。入社してから知識や技術を身につけてもらっています。やる気に満ちた前向きな方に期待します」(まとめ・中務庸子)

